

中道 この道 逃げる道



防災

まちあるき

「防災まちあるき」では、何気ない風景や街並み、道路などから、身を守る情報やヒントを学びます。ワークシートでは、気づいたこと、考えたことをしるしていきましょう！

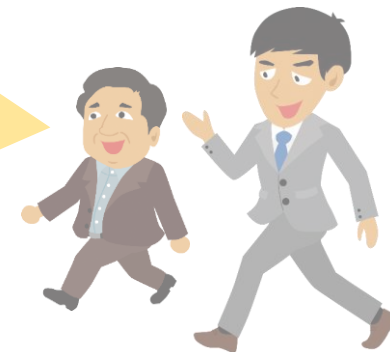
- ①カメラで撮影しよう！
- ②気づいたことを書いてみよう！




中道この道逃げる道 防災まちあるき

安全な場所の「目じるし」は？

南海トラフ巨大地震は、90年から150年に1回くらい来る、世界的にもトップクラスの規則性を持っている地震です。高知県は、宝永地震(1707年)、安政南海地震(1854年)、昭和南海地震(1946年)と過去に大きな地震・津波が発生しています。それでも、ほかの場所に比べ、安全な場所だということがわかる「目じるし」があります。それは、**緑豊かな森**や、そこに建てられた**古い建物**。いま、いる場所の回りを探してみましよう！



見つけたものを
書き出して！

「目じるし」だと思う写真 

なぜ安全の目じるし
なんだろう…？

思いつく限りたくさん書いてみよう！

…だから

ヒントは「中道この道逃げる道 防災ミニブック」
第7回「室戸市」19・20ページをチェック！

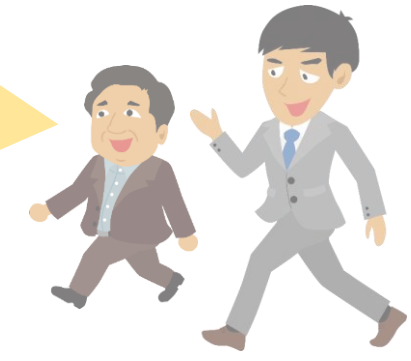
中道この道逃げる道 防災まちあるき

近くを流れる川について

目の前には、穏やかな川が流れています。いま、この場所で、南海トラフ巨大地震が発生したら、何が起こるでしょうか？
2011年3月11日に発生した東日本大震災では、「こうなるとは思っていなかった。」

「いままで経験したことがないことが起こった」と人々が口をそろえて話します。

高知でも想定以外のことが起こると、いまから思っておきましょう。想像することが、命を守ることに繋がります。

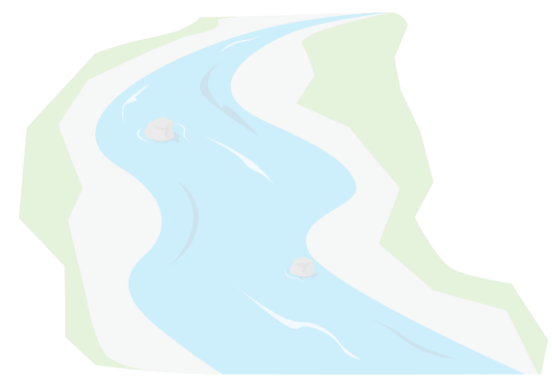


起こると思うことを
書き出して！

「危険ポイント」だと思う写真

なぜ起こるのかな…？

思いつく限りたくさん書いてみよう！



ヒントは「中道この道逃げる道 防災ミニブック」
第6回「土佐市・いの町」17.18ページをチェック！


中道この道逃げる道 防災まちあるき

避難場所への道

目の前には、避難所に向かう道が続いています。ここでも、想定以外のことが起こると思って、周りを見渡してください。
1995年の阪神・淡路大震災では高速道路が倒壊したり、
2018年の大阪北部地震では、ブロック塀が倒壊するなどの被害がありました。
身の回りには、たくさんの「危険ポイント」が潜んでいます。危険だと思うポイントを探しましょう！

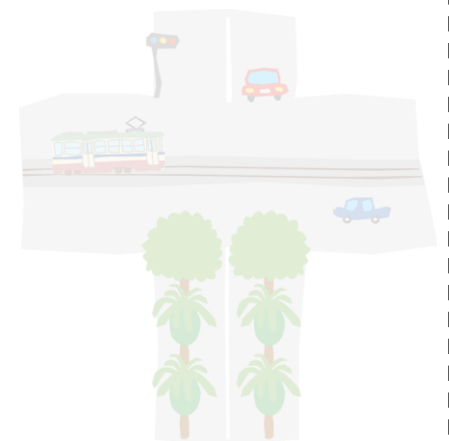


危険ポイントは
どこかな？

「危険ポイント」だと思う写真 

思いつく限りたくさん書いてみよう！

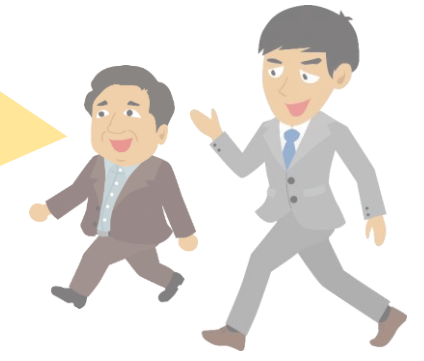
どうすれば避難場所
まで行けるかな…？




ヒントは「中道この道逃げる道 防災ミニブック」
第5回「はりまや橋・帯屋町」15・16ページをチェック！

中道この道逃げる道 防災まちあるき

避難場所に到着しました。
この場所が避難場所になっているのはどんな理由があるのでしょうか。
避難場所になっていても、その場所が本当に安全な場所なのか自分の目でも確認してみましょう。
また、避難場所で、「8時間」を過ごすことを想像して、避難した後を考えてみましょう！



なんで避難場所
なんだろう…？

「安全ポイント」だと思おう写真 

避難してきたら
どうなるだろう…？

思いつく限りたくさん書いてみよう！

ヒントは「中道この道逃げる道 防災ミニブック」
第13回「高知市弘化台地域」25・26ページをチェック！